

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2026年度）>

光シグナル制御による高収量・安定生産型ソーラーシェアリング技術の研究開発

1. 事業概要（太陽光発電利用促進分野、フェーズA）

〔内容〕SS余剰電力を活用した光シグナル制御により、農作物の減収改善・収量向上技術を開発する。

〔背景・経緯〕SS普及の課題である遮光による減収を改善するため、九州大学との共同研究により本技術開発に着手した。

〔狙い、波及効果〕発電と農業生産を両立する高収量・安定生産型SSを確立し、国内外への普及と地域脱炭素への貢献を目指す。

〔事業化〕研究成果を農業生産制御型SSとしてパッケージ化し、農業法人、発電事業者、自治体等への販売・展開を図る。



2. 株式会社アグリツリー

本社所在地	福岡県那珂川市今光 1 丁目115-2
設立／資本金	2018年7月/64,900千円
従業員数	10名（西暦2018年8月現在）
事業内容	ソーラーシェアリングに関するコンサルティング、設計、施工、維持管理、農業

3. その他機関

機関名：国立大学法人九州大学

- ・作物生理・環境応答の専門知見を活かし、光シグナル制御による生育・収量への効果を実証・評価する。
- ・ポット試験・圃場試験を通じて、作物別の光応答、生育時期、収量・品質への効果を評価する。